問１　エコドライブとは、駐車中にエンジンを停止するアイドリングストップや急発進・急加速を避けた等速運転などを心がけた省エネルギー運転のことで、エコドライブは単にエネルギー消費の節減や経済メリットを追求するだけでなく、排出ガスの抑制、交通事故防止、経営コスト削減などの効果が期待できる。

問２　ＳＤＧｓ（エスディージーズ）は、国際社会が２０３０年までに、先進国から途上国までが普遍的に取り組む世界共通の物差しであり、温暖化による気候変動等の人類が抱える特定の問題を解決するための重要な指針とされている。

問３　酒気帯び運転とは、呼気１リットル中０．１５ミリグラム以上、又は血液１ミリリットル中０．５ミリグラム以上のアルコールを体内に保有している状態で車両を運転した場合をいう。

問４　貨物自動車運送事業者は、営業所と当該営業所の車庫が離れている場合は、運行上やむを得ない場合として、電話その他の方法により点呼を行うことができる。

問５　常時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）結果は、検査を実施した医師、保健師等から直接本人に通知され、本人の同意なく事業者に提供することは禁止されている。

問６　６０歳以上の運転者については、国土交通大臣が認定する機関による国土交通大臣が告示で定める高齢者の適性診断（適齢診断）を受診しなければならない。

問７　睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に舌がのどの奥に沈下することにより気道が塞がれ、そのため、大きないびき、睡眠中に呼吸が止まったり、止まりかけたりする状態が断続的に繰り返される病気である。

問８　事業者は、常時使用する労働者に対して１年以内ごとに１回（深夜業を含む業務に従事している労働者には６か月以内ごとに１回）健康診断を行わなければならず、労働者は事業者が行なう健康診断を受けなければならない。

問９　「安全性優良事業所」認定の対象となるのは事業所単位ではなく、会社単位となっており、認定期間は最長２年間である。

問１０　車両総重量８トン以上または最大積載量５トン以上の事業用自動車に乗務した場合、荷主の都合により、３０分以上待機したときは「集貨地点等、集貨地点等への到着・出発日時、荷積み・荷卸しの開始・終了日時」などを乗務記録に記載する必要がある。

問１１　徐行とは、車両等が直ちに停止できるような速度で進行することをいう。

問１２　後方の状況を確認するためにシートベルトをはずして後退すれば、その後シートベルトを再装着して前進しても、シートベルト装着義務違反となる。

問１３　夜間に前照灯を点灯する場合は、上向き点灯が原則である。ただし、対向車がいる場合は、前照灯を下向き点灯に切り替える。

問１４　夜間以外の時間でも、一般道路においては視界が８０メートル以下、高速自動車国道及び自動車専用道路では視界が２００メートル以下の場合は灯火をつけなければならない。

問１５　車両は、人の乗降、貨物の積卸し、駐車又は自動車の格納若しくは修理のため道路外に設けられた施設又は場所の道路に接する自動車用の出入口から５メートル以内の道路の部分においては、駐車してはならない。

問１６　霧のときは、危険防止のために必要に応じて警音器を使用する。

問１７　疲労の影響が最も強く現れるのは、ペダル操作をする足である。

問１８　追越しをする場合であっても、制限速度を超えてはならない。

問１９　車両（乗合自動車及びトロリーバスを除く。）は、他の車両に追い越されるときは、追越しが終わるまで速度を増してはならない。

問２０　高速自動車国道を時速９０キロメートルで走行中、３秒間わき見運転した場合の走行距離は７５メートルである。

問２１　自動車には、定期点検記録簿の写しを備え置かなければならない。

問２２　自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又はこれらの自動車を運行する者は、１日１回、運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

問２３　自動車の前面ガラス及び側面ガラス（告示で定める部分を除く。）は、フィルムが貼り付けられた場合、当該フィルムが貼り付けられた状態においても、透明であり、かつ、運転者が交通状況を確認するために必要な視野の範囲に係る部分における可視光線の透過率が７０％以上であることが確保できるものでなければならない。

問２４　車両総重量８トン以上又は乗車定員３０人以上の自動車の使用者は、スペアタイヤの取付状態等について、６ヵ月ごとに国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

問２５　貨物の運送の用に供する普通自動車のうち車両総重量が８トン未満の自動車については、巻込防止装置を備えなくてもよい。

問２６　自動車が衝突した時の衝撃力は、速度が２倍になれば衝撃力は４倍になる。

問２７　運転者の乗務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録しなければならない車両は、車両総重量が８トン以上又は最大積載量が５トン以上の普通自動車である。

問２８　方向指示器は、毎分６０回以上１２０回以下の一定の周期で点滅するものであること。

問２９　車両安定性制御装置とは、走行中の自動車の急なハンドル操作や滑りやすい路面の走行などを原因とした横滑りの状況に応じて、エンジン出力やブレーキ力を制御し、横滑りや転覆を防止するための装置のことをいう。

問３０　雨の中を高速で走行すると、スリップを起こしたり、タイヤが浮いて、ハンドルやブレーキが効かなくなる「スタンディングウェーブ現象」が発生することがある。